

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービス HUGS		令和 7 年 5 月 7 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	90%	10%	マット等仕切りを使い、利用人数が多い日でもスペースを上手く活用している。	重心児や医療ケア児の利用時は、スペースを区切ったり椅子を活用するなど、安全に過ごせる環境になるように更なる工夫を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	90%	10%	基本の人員に加えて加配職員を配置しています。また、医療ケアに必要な看護職員も配置している。	個別対応の必要時に、もう一人スタッフがいてくれたらと思うこともあるため、支援方法の見直しや職員の連携をとっていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	こどもたちのその日の活動の写真があり、本人たちが分かりやすくなっている。	更に、あらゆる場面で視覚で理解出来るような提示が必要だと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	感染症対策委員会や月例会議で、清掃項目の見直しや、活動スペースの活用方法を検討する機会を設けている。	昼食後の食べこぼし等が落ちていることがあるので、清掃確認を徹底します。洗面やトイレなどは汚れやすいので、都度清掃していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	ニーズがある時に使用できるようにしている。中の様子は、内からでも外からでも確認できるようにしている。	教具や椅子の置き場になることもあるため、都度準備が必要ですので、設備の適正量の見直しを行います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	全職員が管理者と面談時に目標設定を行い、それに向けた実施計画 (P)、実行 (D)、評価 (C)、改善 (A) を行っている。	今後も、業務改善が出来るように努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	内容の共有と改善点の協議を、会議で行っている。	結果情報を職員で共有し、改善点を話し合い、より良い事業所作りに活かしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的に会議を行い、情報共有することができている。	業務改善の遂行度の確認を、委員会等を活用して行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	90%	10%	現時点では第三者評価は受けていない。	今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	月に1回事業所内で研修があり、希望すれば外部研修も受けている。各委員会を設け、定期的に研修を行って意識を向上させている。	職員全体の意識の向上に努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページで公表している。月1度お便りを出している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	保護者と定期的に面談を行い、ニーズや課題を細分化し検討した上で支援計画を作成している。	最低6カ月に一度は面談を行い、目標の到達度や課題を保護者と共有しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に、保育士・児童指導員・看護師等も含めて支援会議を行い、ニーズ・課題に添った計画を作成している。	こどもの最善の利益を考慮しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	会議や書面で周知徹底するほか、適宜、児童発達支援管理責任者が現場で補足するなどをして支援を行っている。	計画内容が意識しやすいように、計画書をすぐに確認できる環境を整えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	日々の支援時の行動や様子を細かく記録している。モニタリング時に標準化されたツールでのアセスメントも行っている。	内容を整理し、理解を一層深められるようにしていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援ガイドラインに基づいた支援計画を作成している。具体的内容も明記している。	項目ごとに、適切な内容をわかりやすいように伝えています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	月、週ごとに大まかな目標と活動を複数名で協議して立案している。日々の細かい活動は、当日リーダーを中心に立案している。	更にチームで支援できるように努めていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	SNSや専門資料、外部見学などの機会での情報収集をし、子ども達が楽しめることを前提に、マンネリ化しないように常に工夫をしている。	活動が偏らないように更なる工夫をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	必要な時は、個別・小集団での活動を取り入れ、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	口頭、連絡ノート、情報ツールを用いて行っている。当日リーダーを中心に事前に座席配置や担当職員を設定して、チームで業務を分担している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援後に子どもの様子も含めて振り返りを行い、改善すべき点、工夫すべき点を職員間で話し合っている。	十分な時間の確保に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	どの職員も記録が出来るようにしています。その日の様子以外にも、変化、成長する姿、配慮が必要なこと等を記録している。	検証する機会を設けていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	保護者と定期的に面談をしてモニタリング、計画の見直しを行っている。今の取り組みが、将来どのような力につながるのかを伝えるようにしている。	保護者の思いを聞き取れるように行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	相談支援事業所のモニタリング時に様子を伝えて情報を共有するほか、サービス担当者会議や関係機関とのやりとりに、児童発達支援管理責任者もしくは、内容を理解した職員が参加している。	引き続き行って参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保健センター、各医療機関とは、訪問、指示書・意見書、検査結果などを通して連携できる体制を整えている。	引き続き行って参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	こども園、保育園、幼稚園に訪問の機会を設け、情報共有を行い、支援方法の統一を行っている。また、事業所への訪問にも応じて相互理解を図っている。	相互見学の機会を設けて、施設間で理解を深めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	移行時には、小学校への直接の情報共有の機会を持ち、学校での取り組みや事業所での支援内容を伝えあって情報共有を行っている。	良好な関係作りに努めています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	90%	10%		現状、出来ていないため、今後の課題として機会を設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	70%	30%	公園、外出等で一緒に活動することもある。	個々での交流のみで事業所としては機会を作れていないので、今後の課題として取り組みます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時での申し送り、連絡帳、各種検査の記録をいただくと共に、常に電話やLINE等で連絡がとれるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	90%	10%	送迎時や面談、個別相談の面談をペアレントトレーニングの一環としてとらえている。	家族向けの専用支援プログラムはないため、必要に応じて研修や情報提供を行って参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に丁寧な説明、HP上への公表を行っている。	変更があった時は、文書や口頭で説明しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	こどもの様子や趣向、特性に合わせた支援計画を作成している。こども本人への意思の確認と、保護者の意思は面談時に確認している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	90%	10%	計画書の発行時に、個別に口頭・文書での説明を行っている。	面談時に、取り組み内容の確認を行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	要望に応じて個別に面談、オンライン支援をし、きょうだい・家族のことを含めた悩みを聞いて情報交換を行うことで、解決策を探っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を開催し、保護者同士、職員とのつながりが持てる機会を設けている。	きょうだい同士の交流機会はニーズがあれば設けていきます。父母会の設置はないため、今後、設置に対してのニーズ把握を行います。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	定期的に相談の申し入れが可能である案内文を掲載し、受け入れ態勢を整えている。希望があった時は、適宜、迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	定期的にお便りを発行、SNS、ブログ等を通じて、日ごろの活動内容を発信している。利用予約の際に、行事予定や概要をお伝えしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報が記載されている書類等の授受は、連絡帳へのチェックや手渡しで行うようにしている。	職員の意識向上に努めます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	個別の配慮が必要な場合は、場所の設定や提示方法を工夫して実施している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	事業所周辺の清掃活動を、職員のみやこどもも含めて定期的の実施することで、地域に開かれた事業所運営を図っている。	事業所の行事に地域住民を招待するなどはしていないため、今後の課題として検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	事故、緊急対応時に備えて、利用者・職員の緊急連絡先は事前に聞き取りを行っている。防犯、災害時の避難訓練も年に2度実施している。	保護者が定期的に確認できるようなツールを設けていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画を策定し、職員への研修・訓練を実施しています。経管栄養が必要なこどもの非常食を準備している。	保護者が定期的に確認できるようなツールを設けていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	服薬情報や、てんかん発作の情報を事前に確認している。必要に応じて、発作止め坐薬を預かり、適宜対応している。体温調節が難しいこどもへは、保冷ベストの管理を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	指示書の確認はないが、保護者申告に基づいて除去をして提供している。おやつ置き場と台所に掲示している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、研修・訓練を行い、安全の管理が十分にされた上で支援をしている。	訓練の機会を増やしたり、何度も見直せられる体制作り検討していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	90%	10%	契約時に、安全計画に基づく取組をご家族に説明している。	保護者が定期的に周知できるようにして参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	支援開始時に職員が確認し、現状が把握できるようにしています。対策委員会で要因分析改善策を考え、会議で周知を行い支援を振り返っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	入職時研修、年1回の研修、外部研修への参加で常に意識向上している。虐待防止委員会を設置・開催し、職員の意識向上に努めている。	常に意識して、指摘し合える環境作りを目指しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束適正化委員会を設置・開催し、協議している。該当する時は、事前に保護者に説明し、同意をいただいている。	該当するこどもがいる時は、十分に説明を行い個別支援計画に記載します。